

令和6年度 委員会報告

准看護師支援委員会

委員長：鈴木 明美

1. 活動方針および活動目標

- 1) 「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務範囲に関するガイドライン及び活用ガイド」の周知を図る
- 2) 准看護師の施設内教育の課題の把握と支援について検討する
- 3) 准看護師への進学支援のための情報発信を行う

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日	委員
定例委員会 【マルイト OBP ビル】	1) 就業中の准看護師を対象にしたワークショップの企画・開催 2) ワークショップの内容をもとに現状と課題の明確化 3) 新卒准看護師研修に参画して進路・進学に関する情報の提供	全6回	9名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日	参加者
ワークショップ 【マルイト OBP ビル】	就業している准看護師を対象にガイドラインにある看護師と准看護師の業務区分・役割分担について現状の把握を行い、准看護師の施設内教育の現状からも課題の抽出ができた。	9月19日	参加者 25名 委員 8名
新卒准看護師研修 【ナースिंगアート大阪】	新卒准看護師研修「明日のあなたへエールを」に参加した。職能団体として協会活動について会長講演、准看護師から認定看護師になられた方、准看護師から看護師になられた方、進学を考えている准看護師の方の3名の講演があった。その後の質疑応答やアンケート調査から准看護学生の進学や進路への思いを把握できた。	2月13日	参加者 190名 委員 9名 担当理事 1名
【活動の概要】 1) 就業している准看護師を対象としたワークショップの実施により、ガイドラインの周知を図ったが、現状報告や業務上の困惑が具体的に挙げられた。また、准看護師の施設内教育についても課題が明らかになった。 2) ワークショップで、進学課程校の募集案内や日本看護協会の奨学金奨励のチラシを配布して、進学に関する情報の提供を行った。 3) 新卒准看護師研修では、3名の方の講演により、新卒准看護師にエールを送り、就業・進学への支援を行った。参加された准看護師から進学に対する質問が積極的に、活発にみられた。			

4. 課題・その他

- 1) ワークショップでは、ガイドラインと実際の業務に乖離があることが明らかになった。次年度は、看護体制を整える役割がある看護管理者を対象にして、ガイドラインから現状と課題を明確にして、情報を共有し具体策についても意見を交換する。
- 2) 新卒准看護師研修からは、進学に向けて前向きな意見が多い反面、不安を抱えている実情も見えている。アンケート結果から、先輩からエール送る講演が就学・進学支援に有効であった。